

東京真室川会 第46回総会・懇親会



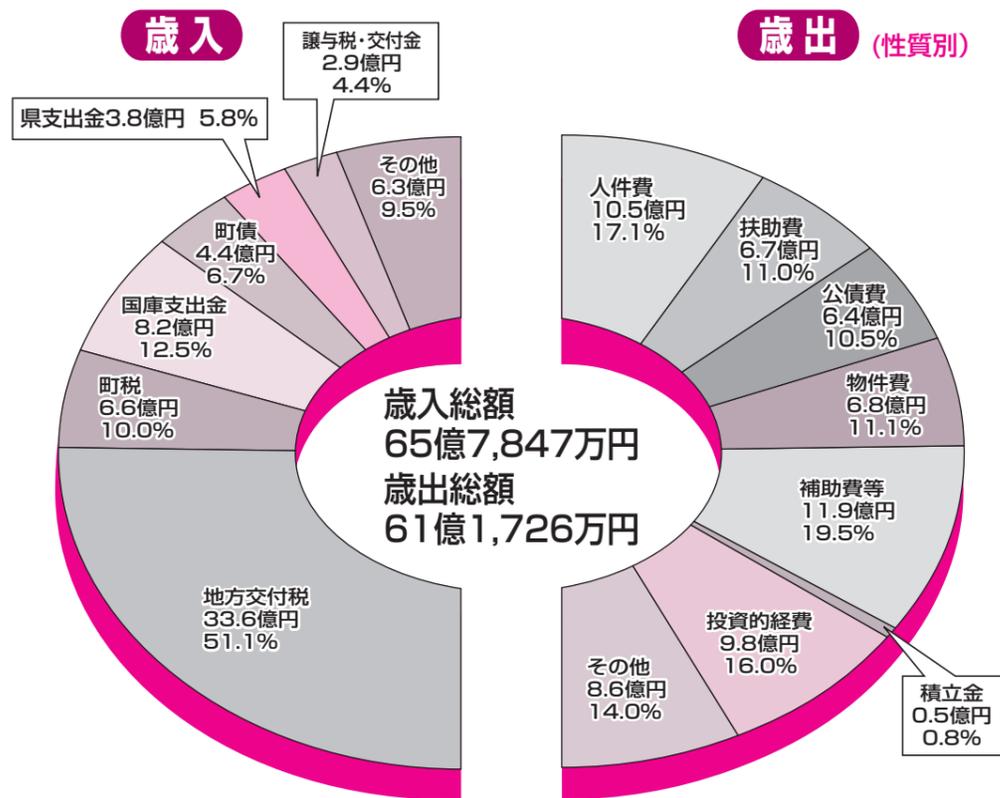
3年ぶりに開催された 東京真室川会 第46回総会
(9ページに関連記事)

第6次総合計画の初年度（決算審査）	2
新型コロナ対策を継続（議案審議）	4
一般質問（5人登壇）	6
第3回臨時会	8
町政の執行状況を調査（所管事務調査）	10
みんなで議会傍聴（真室川中学校3年生）	12
真室川中学校3年生の声	14

第6次総合計画の初年度

バランスよく予算配分し、着実に実施

◆一般会計の構成



決算審査特別委員長意見(要旨)



決算審査特別委員長 菅原 道雄

■一般会計
令和3年度は役場庁舎建設など大事業があったものの、財政指数は良好な状況を保っている。また、第6次総合計画の初年度で、目標達成に向け限られた財源を各事業へバランスよく配分し、着実に実施されていると評価できる。

・町税等の未収金対策は、新たにコンビニ収納や電子決済などで利便性を向上させ、昨年を上回る徴収率となった。他の事業にも導入し、デジタル化推進にもつながるよう期待する。

・「ふるさと納税」は、ポータルサイトを増やすなどし、寄附件数が前年を上回った。寄附額は前年に及ばなかったため、原因検証を行うため努力されるよう望む。

■特別会計
町立病院は、カルテの電子化をはじめ、安全・安心な医療提供に努めている。新型コロナウイルス対策は、ワクチン接種を円滑に実施すること。医師確保についても、引き続き関係機関への働きかけに努力されるよう望む。

・梅里苑は、新型コロナウイルス感染症により経営環境は依然として厳しいが、指定管理者の創意工夫などにより、利用者数は回復の傾向にある。感染症の終息を願う。町の観光拠点としての運営に期待する。

質疑のあれこれ

一般会計

水稲次期作支援事業

佐藤正委員 令和3年度の利用状況について伺う。

農林課長 農業者の生産活動の維持と継続を後押しする次期作に対する支援事業である。対象者は、令和3年産の主食用米(つや姫、水稲種子を除く)を作付けしており、生産の目安を守っている販売農家である。10アール3000円の補助金で申請した農家が3000戸、対象面積が683haである。



収穫風景

令和3年度 各会計歳入歳出決算状況

(単位:円)

会計	区分	歳入額	歳出額
一般会計		6,578,466,298	6,117,256,761
特別会計	国民健康保険	78,976,221	78,588,552
	後期高齢者医療	96,764,264	96,193,156
	介護保険	1,135,781,204	1,128,707,020
	病院事業	1,095,549,255	1,094,373,271
	水道事業	314,546,951	312,943,788
	公共下水道事業	131,464,032	130,650,363
	梅里苑事業	57,800,637	56,537,431
合計		9,489,348,862	9,015,250,342

冬期交通費

小松健弥委員 除雪作業において超過労働時間が最も多い場合何時間の健康面等を考えた労働管理や安全管理はどうか。

建設課長 昨年は豪雪であったこともあり、4カ月で629時間の方もいた。健康面では、募集時の健康状態の確認や作業開始時の健康チェックを行い、運転は2人1組を基本として安全運行に努めている。

おいしいふるさと給食

平野勝澄委員 「地産地消」の効果は。また、「質の向上」に関して、この取り組みや普段の給食の中で、残留農薬や添加物の検査はどうしているか。

教育課長 給食の提供にあたり、地産地消の観点をもって、献立づくり、食材の調達にあたっては、県の補助金も活用しながら、全体的に県産品、町内産品を導入するよう努めている。町内の生産者を招き、どういう気持ちで作っているかを聞いたり、地元の良いものがあるというところを食育の観点から大事にすすめている。残留農薬や添加物については、学校給食衛生管理基準という厳しい基準があり、献立づくり・調達で仕入れ業者に成分表をいただき、

残留農薬や0157関連についても、年2回、食材検査を行いながら安全性の確保に努めている。

町立学校関係

高橋秀則委員 児童数が減少した場合、北部小学校の取り扱いについて。

教育課長 町民の町づくり、心のよりどころと想っている。統廃合は児童数だけで判断すべきものではないと考えている。地域、保護者の強い要望があれば真摯に受け止め検討していくが、これまで教育委員会の会議でも話題になったことはない。町長 最上郡内では保育施設、小中学校各一施設に集中させているようである。私の意見は過去の発言を参考にしていただけではないか。

路線バス・デマンドタクシー
小松正弘委員 利用者からの意見要望はないか。

町民課長 利用回数は伸びてきているし苦情等はない。ここ数年で伸びていないのは真室川地区で、令和4年度からは一律500円の利用料金だけでなく、3km未満300円の料金枠を設けて、近くの方々が利用しやすいよう配慮した。

病院事業会計

血液ガス分析装置購入
舟生源氏委員 この機械はどういう機械か。検査数は。

病院事務課長 肺が酸素を取り込んだり、二酸化炭素を排出する能力を調べて呼吸器系に異常がないかを検査ができる機械である。酸素

の投与量を決めたり、人工呼吸器を付けている方に対しての状況を把握できる。令和3年度の検査数は67件である。

医療機器設置整備費

姉崎園子委員 備品購入費の中に全自動錠剤分包機と薬剤分包機があるが、買い換えか、更新か。

病院事務課長 全自動錠剤分包機は、入院患者のために調剤するもので更新である。また、薬剤分包機は銚子診療所で使用するものでこれも更新である。銚子診療所の近くに調剤薬局がないため院内処方に対応している。



9月定例会

9月定例会は、8日から14日までの7日間の会期で開かれ、町財政健全化比率の報告、広域事務組合規約改正、条例改正、各会計補正予算など町長提出案件6議案、令和3年度各種会計決算を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決されました。

新型コロナ対策を継続 ワクチン接種・保育施設の感染対策

◆職員育児休業条例の改正
平野勝澄議員 具体的な改正内容は、総務課長 非常勤について子育て環境を整える。これまでは産後8週間や一年など時期・段階ごとに手続きが必要で回数制限もあったが、いずれの時期でも取得できるように、また父親母親が交互に取得することも可能になる。

◆一般会計補正予算
新型コロナウイルス感染症対策費
菅原道雄議員 補正額の内容について伺う。

◆教育課長 国の感染症対策補助金が追加され、保育施設の規模に応じて30万円から50万円の補助があり、補助金を満額活用し感染症対策にあたる。保育施設で働く方々の日々の健康管理を徹底するための抗原検査キットや消毒薬、除菌用薬剤、ハンドソープ、使い捨て手袋などの購入にあてた。又、施設ごとに二酸化炭素濃度測定器、給食用パーテーションなどの購入を予定している。民間保育施設に関しては、遊戯室のエアコンの更新、保育室の空気清浄機、調理室のエアコンの購入などに活用する。



抗原検査キット

統計調査費
平野勝澄議員 就業構造基本調査の内容は、企画課長 5年ごとに行われる県の調査で、15世帯×5地区の10月1日現在の調査を行う。年齢、構造別にどのような業種に就業しているかの統計調査である。

農業経営収入保険加入促進事業
菅原道雄議員 補助金の内容について伺う。
農林課長 県では最大3万円の収入保険の掛け捨て保険料の補填を実施する。財源の内訳

は県が3分の2、町が3分の1を負担し、実質負担した実費額が最大3万円のいずれか少ない額を限度とする。今回20件の加入増加を見込んでいる。令和4年度新規で本制度に加入される農業者、農業法人に適用する。

都市計画マスタープラン等策定委託料

小松健弥議員 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委託料について、計画の目的目標や具体的な取組はどうか。
建設課長 急速な人口減少と超高齢化の状況の中でも持続可能な都市経営を確保すべく制度化した。今後居住者の生活を支えるためにもコンパクトなまちづくりを推進しなければならず、立地適正化計画策定は欠かせない。

高橋秀則議員 町長報告で、庄内銀行跡地の活用について民間の希望者が出たので町では見送るとい話があった。町民は駅前整備について銀行跡地利用が入ることを期待している。途中で民間に行ってしまうことではないか。計画ではどのようなことを想定しているのか。具体的なデザインは。

町長 中央公民館、健康管理センター、旧庁舎、農協移転後の跡地と、駅前については通りだけでなく広く考えている。庄内銀行跡地については、撤退の報告を受け、町内・町外からの引き合いがあると聞き、町内の方に利用していただきたいと考えていたが、それありきの計画ではなく、民間の経済活動のほうに優先されるべきだと思う。道の駅のサテラ

イト機能は今ある公共機関で十分果たせる。町が職員を配置するかあるいは例えば観光物産協会が主体となって施設を運営するなどの計画をしっかりと作って補助事業に乗せて総体的に考えていきたい。

県若者定着支援基金負担金

佐藤正議員 山形県若者定着支援基金負担金について伺う。

◆教育課長 県内の若者の定着、大学進学後の回帰を促進するためのもの。山形県と市町村が連携して奨学金の返還を支援する制度である。

◆(その他の議案)
◆町財政健全化判断比率の報告
◆最上広域事務組合規約の改正
◆職員勤務時間等条例の改正

介護保険特別会計補正予算

◆消費税インボイス制度の実施延期についての請願

【提出者】 新庄民主商工会 会長 安食 輝敏

【紹介議員】 平野 勝澄

【結果】 不採択

陳情

案件がありませんでした。

議会のうごき

令和4年7月～10月

- 7月22日(金) 町議会第3回臨時会、農業委員との懇談会
- 25日(月) 知事と町村議会議長との意見交換会
- 28日(木) 最上県勢懇話会

- 8月3日(水) 鮭川村議会特別委員会視察受入れ
- 14日(日) 町二十歳を祝う会
- 17日(水) 真室川音頭パレード、姉妹都市「古河市」との交流会
- 27日(土) 神田紅真室川講談会

- 30日(火)～31日(水) 若手・秋田・山形3県合同町村議会議長・事務局長研修会
- 9月1日(木) 町議会運営委員会、同全員協議会
- 2日(金) 新庄最上地域で考えるこれからの「地方創生」シンポジウム
- 5日(月) 山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟促進大会

- 8日(木)～14日(水) 町議会第3回定例会
- 19日(月) 町敬老会
- 25日(日) 真室川音頭全国大会
- 27日(火) 最上県勢懇話会

- 29日(木)～30日(金) 県選出国會議員への中央要望
- 10月2日(日) 県児童生徒版画展表彰式、町民芸術祭、町芸文協30周年記念式典
- 4日(火) 町連合婦人会との交流会

- 6日(木)～7日(金) 村山・荘内・最上地方町村議会議長会合同研修会
- 9日(日) 東京真室川会総会
- 19日(水) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
- 20日(木) 置賜・最上地方町村議会議長会合同研修会
- 21日(金) 町議会第4回臨時会、町老人体育レクリエーション大会
- 24日(月) 県町村議会議長会議員研修会

○議会広報常任委員会の開催 (10/3、10/12、10/14、10/18)

町政を問う 「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いたすものです。

(●印は要約して掲載しています)

1. 姉崎 園子 議員 P 6
●どのような観光戦略を考えているのか
2. 舟生 源氏 議員 P 6
●奥羽本線の活性化に向けて
3. 小松 健弥 議員 P 6
●行政コンプライアンス推進の取り組み状況について
4. 平野 勝澄 議員 P 8
●堤防上町道の安全確保を
5. 佐藤 正 議員 P 8
●農業原材料と燃料高騰に対する独自支援を

□どのような観光戦略を考えているのか

町長

■町全体のおもてなし力を向上させ賑わいを創出



姉崎 園子 議員

議員 2025年度に東北中央道の新庄金山道路と横堀道路が開通する見込みとなっている。開通により人々の流れ、車の流れが変わるのかと思われる。どのようにして当町を訪れてもらえるのか考えなければならぬ。また、観光にふさわしい自然や、歴史や文化、伝承野菜があるがどのように伝えて行くのか。

町長

■幅広い分野の意見を踏まえて検討していく



舟生 源氏 議員

議員 具体的な企画は検討しているのか。町長 JRとの連携事業として「地域に眠る観光資源を発掘し広く伝えたい。旅に出かける喜びを多くの人に感じてもらいたい。」そんな思いから、地元駅の魅力満載コースを紹介する「駅長のオススメの小さな旅」や、四季折々の絶景ポイントを巡り食を味わいな

□奥羽本線活性化にむけて

町長

■幅広い分野の意見を踏まえて検討していく



舟生 源氏 議員

議員 具体的な企画は検討しているのか。町長 JRとの連携事業として「地域に眠る観光資源を発掘し広く伝えたい。旅に出かける喜びを多くの人に感じてもらいたい。」そんな思いから、地元駅の魅力満載コースを紹介する「駅長のオススメの小さな旅」や、四季折々の絶景ポイントを巡り食を味わいな

□行政コンプライアンス推進の取組み状況は

町長

■取組みの再点検と衛生委員会で一層の情報共有を図る



小松 健弥 議員

議員 昨今行政活動をめぐるコンプライアンスの充実が指摘されている。民間のみならず公的な組織においてもその重要性が増し、民・官を問わず法律や倫理、社会規範などに基づく適正な活動を定着させることが大変重要である。以上のことを踏まえ3点伺う。1、組織としてコンプライアンス教育は実施

しているか。そのタイミングと内容、頻度は。2、職員のストレスチェックは行っているか。3、先般の本町不祥事に関して、再発防止対策の取組み状況は。

町長 1点目、コンプライアンス教育実施のタイミング、内容、頻度について、職員の教育は人材育成方針や研修計画に基づき行っている。職場内においては、日常業務を通して上司や先輩が、部下や後輩の指導を随時行い、職場外研修では、山形県市町村職員研修協議会が主催する職位ごとの研修などを実施し、

かがか。

町長 発掘場所については、道路が狭く冬期間通行止めとしている路線であることから、新たな整備は考えていない。マムロガワクジラのくぢら餅は、販売店主である菓子店と相談しながら検討している。

議員 鮭延城の跡地について伺う。

町長 鮭延城跡は、平成7年3月に町文化財「史跡」と指定し、その後、維持保全のため土地買収に向けた準備を進めたが断念した経緯があることから、今後も内町地区と連携しながら鮭延城の維持保全に努めていく。

議員 駅前活性化について伺う。



マムロガワクジラのくぢら餅

情報発信の拠点とすべく検討を進めてきたが、会社としての利用計画が明確なことや民間活力による土地や建物の活用が町にとって有効であること等を考え、民間企業との契約を優先して進めていた。今後も進捗状況を確認しながら、引き続き、空き地の活用や公共施設の整備など、駅前地区の活性化につながる検討を進めていく。

町長 JR東日本の関連団体である「駅旅コンシェルジュ山形」と町が連携しながら、山形駅で観光情報の発信等を行っているが、鉄道の利用者を拡大したリ経営を好転させることは町単独では困難なことと認識している。最上総合支庁の呼びかけで本町も参画する陸羽東西線利用推進協議会の構成市町村の担当課長とJR東日本が参集し、地方鉄道をめぐめる動向や今後の対応策について会議を行った。この会議で確認した方針に沿って、県や秋田県も含めた沿線自治体が連携し、地域の魅力を発信することでエリア内での回遊を図り、連携する団体が波及効果を享



かつてのにぎわいを

受でできるよう最上地域観光協議会などと連携を図っていく。

その他の質問

●避雷針設置の考えは町長 設置義務がある建物以外に設置することや単独で設置することとは考えていない。

●公共施設のメンテナンスは万全か町長 対応が不十分な施設は、随時お知らせ

いただきたい。

～コンプライアンスとは～

法令遵守の意味。

企業や公的機関を問わず、法令、条例、社会規範に反することなく、公正・公平に職務を遂行することをいう。

この中にコンプライアンス教育の研修メニューが含まれている。2点目、ストレスチェックについては、平成27年に労働安全衛生法が改正され、従業員50人以上の事業所については、年1回のストレスチェックの実施が義務付けられおり、町衛生委員会の事業に位置付け実施している。3点目、再発防止対策

の取組み状況について、医師や保健師など専門的知識を持つ職と労使で組織している衛生委員会など、これまでの取組みの再点検を行い、今後の計画に反映させ、一層の情報共有を図り、新たな取組みについても行う。今後は例年実施している人事異動希望調査の際にハラスメントについても調査に加えて実施把握に努める。

堤防上町道の安全確保を

町長

看板や路面表示を検討する



平野 勝澄 議員

議員 真室川と金山川の合流点付近から左岸の堤防上に沿って走る町道がある。この町道を歩行者として利用する方から、「堤防上は狭く、対向車が来るとすれ違いに苦労している。歩行者としては非常に危険を感じる。何らかの規制を行い、安全確保をしてほしい」との声をいただいた。運転者としては、平岡方面や釜淵方面から秋

山、安楽城方面に向かう場合、森林管理署から信号にかけて右折のため待機時間がかかることから、この町道の方を利用しがちだ。この町道沿いに居住されている方などを除き進入禁止あるいは一方通行の規制をかけるか、または森林管理署付近から信号までの国道に安楽城方面への右折レーンを設けて、この町道部分を通過する自動車との交通量を減し、町民の安全確保を図ってはどうか。

町長 供用開始からこれまで、付近での死亡事故はあったものの、

農業原材料と燃料高騰に対する独自支援を

町長

状況を注視し必要な対策を講じる



佐藤 正 議員

議員 ウクライナ危機や円安に伴うエネルギー・原材料価格の高騰により、来年度の農業経営へ影響が出てくるのではないかと心配している。基幹産業を元気に継続させるため、町単独の資源循環型農業への支援、エネルギー・原材料価格への支援、種子・農機具への支援ができないか。

町長 国による「環境保全型農業直接支払」が引き続き措置され、今年度の補正予算では前年から2割以上の化学肥料の低減に取り組んだ農家を対象に、新たな対策が制度化されている。畜産飼料については本年6月に県が高騰した費用の50%を補助する制度を創設している。町でも9月補正予算に、県事業の対象外を含めた全畜産農家へ、県が予算の関係で圧縮した額を補助する予算を計上した。今後も農業に限らず、物価の変動や国・県の動向を注視しながら、必要な対策を講じる。

その他の質問

●町立病院の医療費患者負担について

議員 自由診療や差額ベッド代の割り増しをやめてはどうか。

町長 交通事故等の自由診療は通常よりコストがかかり、差額ベッドは療養環境に優れており、合理的な料金設定である。

その他の質問

●鳥獣対策について

議員 地域ぐるみで被害がでる前に官・民が一体となって対応を。

町長 昨年度事業に参加した2地区では予防策の重要性と必要性を研修しており、他の地区でも取り組みをすすめる。

●空き家を活用した移住体験住宅について

議員 開設への推進状況はどうか。

町長 情報発信拠点としての可能性も視野に引き続き候補物件の情報収集、所有者との交渉や関係機関との調整を重ね、継続して取り組みをすすめる。



堤防上の町道

●仮称「開業支援事業補助金」制度創設について

議員 町内外から創業予定者を呼び込む新たな補助制度の導入を。

町長 「真室川町空き家空き店舗活用支援事業費補助金」や資格取得支援事業等を活用していただきたい。



コロナ前の畜産共進会の様子

第3回臨時会

会期：7月22日

第3回臨時会は、7月22日に1日間の会期で開かれ、町長提出の契約案件1議案を慎重に審議し、原案のとおり可決されました。

◆真中屋根及び外壁改修工事請負契約

平野勝澄議員 落札率はいかほどか。

教育課長 99・9%だった。

平野勝澄議員 かなり予定価格に近いがなぜか。

教育課長 1回目、2

回目の入札は予定価格を超え、3回目で落札した。各業者とも昨今の物価高騰に対する懸念があったためと考える。

小松健弥議員 工事は防水シート張り替え等を含む屋根の葺き替え工事か、施設の点検結果

果に基づく改修か。

教育課長 校舎及び金工、木工棟の老朽化による改修で屋根下地を活かしながら防水シート、屋根材の葺き替えを行う。令和3年から10年間の教育施設長寿命化計画による工事である。



工事中の真室川中学校

第46回東京真室川会総会に参加して



姉崎園子 議員

10月9日、東京真室川会の総会が、約130名の会員の皆さんの参加により東京都内で開催され、議員一同参加させていただきました。

去年、一昨年とコロナ禍等により中止が続ぎ、待ちに待った3年ぶりの再会で、皆さんお一人お一人との懇談に花が咲き、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。故郷を大切に思い、それぞれの

地で頑張ってこられた皆さんと出会えました。そして、ふるさとと真室川が「生きがいを感じ、幸せを感じるまち」と皆さんに感じていただけるような町づくりを微力ながら貢献していきたいと思っております。役員の方々にお願いいたします。ありがとうございます。

町内所管 事務調査

常任委員会は、議案や請願について詳細に審査する機関です。委員会では、より適切な審査を行うため、毎年所管事項について町内および県外先進地の現地調査を行っています。

その調査をもとに、町に対して評価・要改善事項を指摘し、よりよい町政に反映させていくこととしております。(要約のうえ掲載しております)

産業福祉常任委員会

6月30日、7月1日

(所管する課)

建設課・農林課
福祉課・

町立真室川病院

(調査した箇所、評価
及び指摘事項)

※抜粋要約して掲載

○民国連携林業専用道
整備事業

(小国西小俣線)

・民国連携による大規模な林道整備事業で、早期完成により作業効率の大幅な向上、伐採・搬出量の増加が見込まれる。

この事業が成功事例となり、他の民有林内でも林道整備がすすみ、今後の林業活性化につながることに期待したい。

○協働の道づくり事業
(三浦地区)

・町独自の事業として十分な周知を図りながら、要望あつた該当地区へは、短期間で完成できるように事業規模・予算配分の拡充を図られたい。

○ほ場整備事業
(真室川北部地区)

・真室川北部地区については、町内でも広範囲にわたり、事業完成まで相当時間を要することから、受益者の負担増とならないよう、早期の事業完成に努められたい。

○浄化センター長寿命化事業

・施設内機器類の管理は適正にされているが、冬期間の除排雪堆積場所と隣接していることから、防護柵等の適正管理に留意されたい。
・児童の施設見学受け入れなど、環境問題に



浄化センター

関心を持ってもらい、家庭の下水道・合併浄化槽整備率向上に向けた検討をされたい。

○社会資本整備交付金事業
(公園複合施設建設)

・町内外の利用者の憩いの場として、今年度整備予定のトイレ・遊具等を早期に設置されたい。

○東町住宅建設事業

・移住・定住人口増につながるよう、事業の早期完成に努められたい。

い。

・公募の際には、条件・周知方法など十分に精査し、早期分譲に向けた取組みに努められたい。

○町立真室川病院の経営状況

・最上地域北部の拠点医療施設であることから、関係機関との連携を密にし、洪水浸水等災害時の対応の再確認、継続的な常勤医師確保の取組みなど、利用者が安心して医療を受けられるよう、病院の安定経営に努められたい。

○新型コロナウイルスワクチン接種の状況

・3回目ワクチン接種まで、高い接種率で円滑に実施されていることについて評価したい。4回目の接種についても、引き続きトラブル・事故のないよう慎重に事務手続きを進められたい。



外構工事のすすむドリームハウス

○障がい者福祉施設整備事業

・玄関をはじめとする外構工事、施設案内標識の整備をこれから予定されているが、利用者の安全確保・利便性向上のため早急に整備するよう指導されたい。
・利用者の作業内容についても、最終的に一般就労を目指していることから、農福連携をはじめとする作業内容を一層充実させるなど、自立支援に取り組みられるよう併せて指導されたい。

総務文教常任委員会

7月6日、7日

(所管する課)

総務課・企画課

町民課・会計室

教育委員会

(調査した箇所、評価
及び指摘事項)

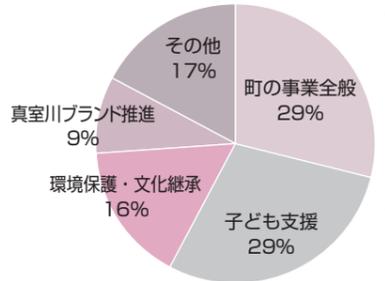
※抜粋要約して掲載

○消防団処遇及び協力
事業所報償事業、消
防施設整備状況

・消防団員について、このたびの報酬及び費用弁償の改善により、団員の士気高揚が期待されている。

・消防団協力事業所への報償事業を実施することにより、協力事業所の拡大・消防団活動への理解が深まり、消防団組織の維持につながることを期待したい。

●寄付金の使い道希望状況



○まむろ川温泉梅里苑の運営状況について
・コロナ禍においても

指定管理者の創意工夫により、施設運営について好評を得ており、年々利用客が増加しているが、利用者にはわかりやすい施設案内標識の設置など検討されたい。

・周辺のキャンプ場整備事業が計画され、一層の誘客が見込まれるが、今後必要な施設整備について、指定管理者と十分な協議を進められたい。

○町内空き家の現状と対策

・空き家バンク登録制度・空き家解体助成事業を有効に活用してもらうため、住所移転手続きの際に制度周知を行うとともに、空き家の管理予定など把握することを検討されたい。
・年々補助事業申請者が増えつつあるが、危険空き家解体を一層推進するためにも、所有者が着手しやすいよう、

補助金額の引き上げについても検討されたい。

○各会計出納事務取扱状況

・公金取り扱いについては、電子システム化により業務の効率化が図られているが、他市町村で出納事務の誤りやシステム障害事例もあることから、引き続き慎重な事務処理、有事に備えた業務対応に当たられたい。

○真室川小学校、真室川北部小学校の経営概要について

・(共通)各学校とも、町教育振興計画の基本目標に基づき、地域性を生かした学校の教育目標が掲げられている。中でも「自ら学び自ら考える力」を育むことにより、成功体験を喜びに変え、失敗することの大切さも学ぶことで、将来に向けて「ふるさとを愛する心」が養われることに期待し

たい。

・(真小)ICTを活用した授業が始まり、児童も親しみながら学習している様子が伺えた。今後も有効に活用するため、ICT環境の改善等も含め、ICT教育を推進されたい。

・(北部小)建築から年数も経過していることから、教室外ペランダをはじめとした施設の定期的な安全点検、耐久性の点検を徹底されたい。

○釜淵保育所の施設概要

・施設周辺の土地管理も良好であり、大規模改修を行ったことにより、施設の利便性が向上し、快適に利用されていることが伺えた。
・遊具(ボルダリング)について、安全性の向上に向け、落下防止の安全ベルト着用などの対策を検討されたい。

○社会体育施設の概要
(町民体育館、総合運動公園)

・運動公園敷地内には複数の運動施設があり、各種大会等で多くの方から利用されているが、施設によっては老朽化により使用できないものも見受けられる。特にグラウンド・ゴルフ場内のトイレ故障により不便をきたしていることから、早急に対応されたい。

・野球場についても、少年野球の活躍により利用頻度が高くなってきていることから、グラウンド整備等は利用者の協力を得ながら適正な管理に努められたい。
・現在ゲートボール場として使用されていない跡地も、駐車場・その他施設などの利活用について検討されたい。

みんなで議会傍聴

真室川中学校3年生



真室川中学校3年生の皆さんが、9月定例会会期中の決算審査特別委員会にお越しいただきました。委員会を傍聴しての感想や質問などを寄稿いただきましたので、一部抜粋してご紹介いたします。

五十嵐このみさん

事を決定するときには委員の人たちだけでなく、町民の人の意見を大切にしてくれているということが分かった。それぞれの課の課長や委員の人たちが、町をより良くするために意見を言ったり、質問したりして、今の真室川町があるのは議会や役場の人、委員の人など色々な人たちの支えがあるからなんだなと思った。

伊藤 花音さん

ゴミ問題や小学校の合併についてなど、自分も気になっていることが話題に出ていて、議員さんがどんな意見をもっているかを知れて面白かった。

栗田みらいさん

質疑応答が成り立っていて、学校生活でも活かせることがたくさんあった。これからの生活で討議があると思うけど、今回体験したことを参考にしていきたい。

近藤 乃音さん

真室川町がより良い町なのは、このように会議でたくさん話し合われているからなのだなと感じた。私たちも出来ることを見つけ、少しでも町の役に立てればなと思った。

佐藤 惇平さん

町の方々は、僕たちが知らないところで、町のために細かいところまで気を配って考えているんだと強く感じた。幅広い世代に合った活動を行っている、若者にもお年寄りにも優しいと思った。

佐藤 愛華さん

真室川町の政治は民主的だと思った。町の課題について町民の生の声を取り入れ、それを含めてどう考えるのか工夫されている。次の世代のことでも今の世代のことも考えられている。町民にとって優しい政治だと考えた。

庄司 妃菜さん

真室川町では、少子高齢化がすすんで進んでいるのだと改めて分かった。町バスなどの公共のものについては、町の人が利用しやすいようにというところを重点にして考えられていて良いと思った。

姉崎 大雅さん

町は色々な人が関わり成り立っていることが分かった。参加して意見を言うことで、自分たちはより良く暮らせているんだと思う。あまり政治に関わることはないけれど、町についてたくさん知り、大人になったら選挙に参加したいと思った。

西田 晃志さん

少子高齢化や過疎化の対策として、祭りや伝統野菜などがあるが、それらの策が練られている裏では、様々な委員や課が議論の場で提案されているのではないかと考えた。

西村 司さん

一つを中心にして話すのではなく、真室川町をいろんなところから見ると、出た課題を元に話していることが分かった。今後、自分も真室川町を色々なところから見えて考えていきたい。

小野 夢奈さん

話し合いが活発で良いと思ったが、議会の平均年齢が高く、若い人を取り入れて広い視野で問題解決に取り組んだ方が良いのではないかと考えた。

栗田 愛梨さん

町の状態がどれほど厳しいかなどを知れて良かった。議員の方々も真剣に町民を考えてくれて嬉しかった。議会を傍聴し、真室川町に残って町に貢献したいと思った。

櫻本 静月さん

少子高齢化が急速に進んでいることが分かったし、真室川町にはいろいろな課題がまだまだたくさんあるんだなと改めて思った。

●疑問や気になったこと・わからないことにお答えします。

柿崎 健吾さん

委員が質問をして他の委員が答弁に疑問を持った時、再度質問をしていいのかわかるか。

質問 予算や決算の委員会の場合、他の委員の質問が終了し、自分の質問の順番になったら質問できますか。

質問 男性がとても多い。

質問 女性が議員に立候補しやすくなるように、育児休暇の拡充など働き方改革に取り組んでいるところですか。

質問 一般の人の質問はどうするのか。

質問 町民の代表である議員が、日頃の活動の中で皆さんの声をできるだけ拾い上げて議会に臨んでいますか。

木戸 葉月さん

議会は毎日行っているのか。1日につき何時間行っているのか。

質問 議会は、毎年3・6・9・12月に定例会を、その他必要に応じて臨時会を開催します。それぞれ1〜7日間の会期で、1日あたり2〜6時間程度行なわれています。

質問 どういったことに対して質問をしているのか。

質問 町の行財政全般にわたって町長の所信をただしたり、提出された議案の説明を求めたりします。

近岡 裕樹さん

質問 質問は誰が言って誰が答えるのか、決まった人がしなくてはならないのか。(同じ人たちがしかり取りをしていなかったから。)

質問 委員会では、各委員に質問の持ち時間があり、提出された議案に対して質問をします。答弁は主に町長や教育長がしますが、事務的な質問には担当課長が答えます。

梁瀬 侑来さん

質問 時間内に質疑が終わらなかった場合どうなるのか。

質問 持ち時間が終わったところで終了です。なぜ時間が限られているのか。

質問 決められた日程の中で、できるだけ多くの議員が、公平に質問できるようにするためです。持ち時間は1人30分/回です。

真室川中学校3年生の声

佐藤 愛華さん
まなか

議場に入った瞬間に空気が一変し、緊張感が漂っていました。大人の方々の真剣な眼差しをみて、「ここはただの話し合いの場ではない。」と思いましたが。

傍聴した当日は、町の過疎化、ごみステーションの増設または場所の再検討、小学校の統合、教育について話し合われており、私たちにも関係のある議題で、政治をより身近に感じられました。

私は、その中でも「小学校の統合」が印象に残りました。少子化に伴い、私たちの町も、解決が望まれる課題をたくさん抱えていることを再認識しました。その一例が、地域で親しまれてきた小学校の存続についてでした。今後、今より一層の少子化が予想される中で、「児童が少ないこと」をむしろ魅力と考え、最善を尽くそうと努める学校の取り組み、児童の日常、町民の願いなどを丁寧に考えたい、一つの答えを出すのが難しいテーマです。

それでも、「地域に根差した小学校の統合」の是非について質疑し、応答する姿をみて、真室川町の未来をより良くしたいという志を強く感じました。私たちの見えないところで、陰ながら町民の声に耳を傾け、町のために動いて下さる議員の方々に、大人の格好よさを感じました。

町民の願いを託された議員の方々が、責任をもって意見や質疑をし、役場の方々が誠意をもって応答する。議会とはそういう場だったのだと振り返っています。同時に、これからの真室川町の未来を担うのは私たちなのだと感じています。今と未来との「つなぎ手」として、どのように故郷に向き合っていくのかを考える、大きなきっかけとなる経験をさせていただきました。

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>

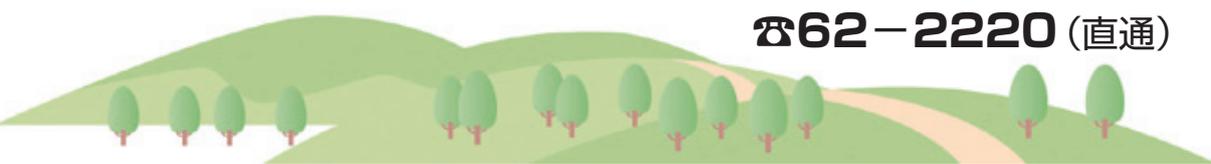


お問い合わせは

議会事務局まで
☎62-2220 (直通)

傍聴お待ちしております

● 次回の
定例会は **12月**です



編集を終えて

9月の定例会は決算議会ともいわれ、令和3年度予算の執行結果を審議し、その結果をもとに今後の町財政運営に役立てていく大事な議会になります。定例会には、昨年同様真室川中学校3年生が社会科の授業の一環として傍聴に来てくださり、その感想文を掲載しておりますのでご覧いただきたいと存じます。

今年も11月中旬から各地区において「議会報告会」を開催いたします。お忙しいところとは存じますが是非ご出席賜り、住みよい、明るい町をつくるため疑問に思うことやご意見をいただきたいと思っております。

いまだ収束の見えない新型コロナウイルススではありますが、感染予防対策をしっかり行い健やかな日々をお過ごし下さい。(小松正弘)

議会広報常任委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
園子	崎園	生源氏	小松健弘	平野勝澄